

## 第 2 3 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問）

平成 2 5 年 3 月 4 日

番号	1	質問者	清風の絆 能見 勇八郎
質 問 事 項		質 問 要 旨	
1. 朝来市の観光政策		(1) 朝来市の観光の現状はどうなっているか。 (2) 竹田城跡への観光客誘致に向けて、どのような取り組みをしたか。他の観光施設についてはどうか。 (3) 平成 25 年度以後の観光客数の動向をどう考えているか。 (4) 市内の観光施設の連携をどのように図るのか。 (5) 銀の馬車道、鉱石の道を含め、姫路をはじめ播州地方、豊岡をはじめ但馬の他市町との連携をどのように図るか。 (6) 観光振興計画等を策定する計画はないか。	答弁を 求める者  市 長
2. 生野町の空家問題		(1) 放置されている多数の空家と景観形成地区は将来両立しうるのか。 (2) 現在の空家対策はどうなっているか。また空家バンク制度の検討結果はどうなっているか。 (3) 空家バンク制度で対策は十分か。効果的な定住を促す制度、店舗利用を促進する制度を、どのように設計する考えか。	市 長
タ イ ト ル		朝 来 市 の 観 光 政 策 を 問 う	

## 第 2 3 回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	1	質問者	湊 本 稔	平成 2 5 年 3 月 4 日
質 問 事 項		質 問 要 旨		答弁を 求める者
1. 経済振興宣言及び経済振興基本条例の制定を		(1) 市内の経済を持続可能なものにするため、市内で経済を回していくことを軸に、農林業、観光、新エネルギー、商工業等を市民あげて支え、創造していくことが必要です。その意識を共有するための朝来市の経済振興宣言と市の経済成長戦略に関する基本的事項を定めた朝来市経済振興基本条例を制定すべきと考えますが、市長のご所見を伺います。		市 長
2. 住みやすい、子育てしやすいまちづくりにすべし		(1) 若い世代の子育てを支援し、市の人口政策にも資するため、現在の保育料の前段階において4分の1に減額すべきです。さらに、次の段階では全て無料とすることにより住みやすい、子育てしやすい朝来市にすべきですが、市長のご所見を伺います。  (2) 子育てを支援すると同時に、将来の人材を育成するために市独自の大学等進学支度金及び奨学金制度を創設すべきですが、市長のご所見を伺います。		市 長 教育長
タイトル		経済振興基本条例の制定を		

## 第 2 3 回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	2	質問者	中 島 利 信	平成 2 5 年 3 月 4 日
質 問 事 項		質 問 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
1. 岩津ねぎブランド力の維持向上を		(1) 朝来市特産品、特に岩津ねぎのブランド品質の維持向上対策の徹底について 本年は葉物野菜等産地の寒冷化と大雪によって、野菜の出荷が減少し、価格が高騰する中で、出荷される岩津ねぎの品質が非常に悪くなりつつあるとの指摘があります。こうした時期こそ、良品質を維持する事こそブランド力をPRする絶好の機会であり指導徹底すべきである。		市 長
2. 職員教育の抜本的改革を		(1) 職員の意識改革と職員教育の抜本的改革について 本年は 30 人余、以後も定年退職だけでも 20～25 人の退職が見込まれる中で、職員の意識改革が急務である。本年度予算の行政マネジメント事業シートによると「自治大学校」「県自治研修所」etc、従来型の研修が列記されているが、民間のノウハウ、民間のコスト意識を取り入れた研修を行うべきだと思いが、その意欲はないか。		市 長
タ イ ト ル		職 員 の 意 識 改 革 こ そ 急 務		

## 第 2 3 回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	3	質問者	上 谷 廣 志	平成 2 5 年 3 月 4 日	
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
1. 播但線全線電化の実現を			(1) J R 西日本の見解と国土交通省の認識は。 (2) 朝来市の見解と兵庫県の見解は。 (3) 電化による経済効果はどうか。 (4) 播但線全線電化は防災機能の強化につながるといった視点に立つべき。 (5) 国土交通大臣への陳情は。		市 長
2. 朝来市交通政策の改善を			(1) デマンド型アコバスの利便性の拡充は。 (2) バス政策の見直しを。		市 長
3. 通学路の総点検を			(1) 市内の通学路の安全対策は。 (2) ロードミラーの点検は。 (3) 踏み切りの対応は。		市 長 教育長
4. 管理できない森林の危険木や農地や民家への日照問題への対応は			(1) 現状の調査と対策を伺う。 (2) 「危険木の除去に係る補助制度」はないのか。		市 長
タイトル		市民は現実問題の改善を望む			

## 第 2 3 回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	4	質問者	山 本 正 之		平成 2 5 年 3 月 4 日
質 問 事 項				質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 本人通知制度について				(1) 戸籍、住民票を不正取得することについての市長の考えは。 (2) 市の取り組み状況を問う。 (3) 市民への周知をどうするのか。	市 長
2. 有害鳥獣対策について				(1) 県民緑税を利用した野生動物育成林整備事業の内容を。 (2) クマによる被害を防ぐための取り組みは。 (3) バッファークーンの維持管理は誰が担うのか。	市 長
3. 経済活性化について				(1) パオパオの跡地利用への関心、対策は。 (2) 市としての支援策は。	市 長
4. 民生委員活動について				(1) 活動内容の状況を聞く。 (2) 活動の割には報酬が低いのでは。	市 長
5. 地域防犯推進事業について				(1) 防犯カメラの設置増へ向けて。	市 長
タ イ ト ル		安 心 し て 暮 ら せ る ま ち づ く り			

## 第23回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	5	質問者	岡田和之	平成25年3月4日	
質問事項			質問要旨		答弁を 求める者
1. 生活保護制度について			国は、生活保護基準の引き下げを打ち出しているが、実施されれば市民にどのような影響が出るのか。 (1) 国民の健康で文化的な最低限度の生活を保障する基盤となっている生活保護基準設定の意義と果たしている役割について市長の認識を尋ねる。 (2) 生活保護基準の引き下げにより影響を受ける制度には、どのようなものがあり、対象になる市民はどのくらいあるのか。		市長
2. 国民健康保険に関する国のペナルティについて			国は国民健康保険に対する自治体独自の助成制度に対して、国庫負担金の減額というペナルティを科している。 (1) 朝来市の国民健康保険国庫負担金はいくら減額されているのか。 (2) 国によるペナルティは自治体の努力や独自性を阻害するものであり、国は負担金の減額を中止すべきと考えるが市長はどう考えるか。		市長
3. 失業者に対する窓口対応について			(1) 失業により国民年金や国民健康保険の加入手続きに訪れた市民に対し、各種負担金軽減制度を説明するなど市民の立場に立った丁寧な対応が必要だと考えるが、実態はどうか。		市長
タイトル		生活保護基準の引き下げと市民生活			

## 第 2 3 回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	6	質問者	木 村 圭 介	平成 2 5 年 3 月 5 日
質 問 事 項		質 問 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
1. 要支援者への対応はどう考えるか。		(1) 認知症の人の現状をどのように把握しているのか。早期発見策は。家族や地域の理解をどのように深めてもらい、また、市としてどのような支援が出来るのか。  (2) 買い物弱者や交通弱者、災害時要援護者の現状をどのように理解し、どのような支援策を講じるのか。		市 長
2. ケーブルテレビの光ファイバー化事業で、出来ることは。		(1) 福祉施策ではどんなことを考えているか。 (2) 産業育成ではどんなことを考えているか。 (3) 教育分野ではどんなことが考えられるか。		市 長 教育長
3. 薪ストーブ利用の推進は出来ないか。		(1) 薪ストーブの利用推進は出来ないか。		市 長
タ イ ト ル		要 支 援 を 必 要 と す る 方 へ の 対 応 は		

## 第 2 3 回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	7	質問者	鈴木逸朗	平成25年3月5日	
質問事項		質問要旨		答弁を 求める者	
1. ごみ処理料金について		(1) 「ごみ袋代が高いのではないですか」との声に、どのように説明するのか。		市長	
2. 「道徳教育推進事業を推進」について		(1) 事業をどのように「(拡充)」し、「いじめや問題行動の発生ゼロをめざ」すことにつなげていくのか。		教育長	
3. 朝来市国民健康保険事業財政安定化計画について		(1) 計画によって、市民の暮らしはどのようになるのか。  ① 「医療費の現状分析結果の活用」、「ジェネリック医薬品の普及啓発」など医療費抑制対策の面から。  ② 国民健康保険税の面から。		市長	
タイトル		国保財政安定化計画と市民の暮らし			

## 第 2 3 回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	8	質問者	太 田 則 之	平成 2 5 年 3 月 5 日
質 問 事 項			質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 再生可能エネルギーの自給について			<p>(1) 新興国の人口増加、経済成長により食糧、資源の不足が深刻化しつつある。それらの輸入国である我が国は、貿易赤字をはじめ、経済の衰えと雇用の減少が進み、円安の進行による輸入価格の高騰など、厳しさが予想される。資源リサイクルとエネルギー、食糧の自給を重要課題と位置付けて取り組みを進めるべきだ。</p> <p>(2) エネルギーの自給の観点から、市内の森林を製材だけでなく、エネルギーも含めた 1 0 0 % の利用を念頭に置き、まずはエネルギー利用の需要の創出を先行すべきだ。</p> <p>(3) 地域と協働で小水力発電、太陽光発電など再生可能エネルギーの普及促進を図るべきだ。</p> <p>(4) 太陽光発電施設設置補助金と、地元企業育成の考え方を問う。</p> <p>(5) 大手資本によるメガソーラー等の整備は地元のメリットが少なく、地域から生まれる収益をまちづくりに活かすべく、その普及拡大を視野にエネルギー条例を策定する自治体が増えているが、当市も検討すべきでは。</p>	市 長
タ イ ト ル		エ ネ ル ギ ー の 自 給 率 ア ッ プ を ！		

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2. 給食について	(1) 給食における食物アレルギーの対応について伺う。	教 育 長
3. 中小企業支援について	(1) 中小企業金融円滑化法が期限を迎えるが、市内企業の相談窓口等、万全な支援体制が必要では。	市 長

## 第 2 3 回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	9	質問者	吉 田 俊 平		平成 2 5 年 3 月 5 日
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
1. 朝来市の経済について			(1) 国の重点分野は。 (2) 現在の成長分野は。 (3) インフレになればどうなるのか。 (4) 企業誘致のこれまでの取り組みと市内工場閉鎖への対応は。 (5) 産業連関表による投資効果の高い分野は。 (6) 城崎観光協会、湯村観光協会との観光協定を結んではどうか。 (7) 経済政策の投資効果をどう測るのか。		市 長
2. 基金問題について			(1) 買い手責任は追及するのか。		市 長
3. 庁舎問題について			(1) 災害に対する検討が十分なされたのか。		市 長
4. 一般質問の対応状況について			(1) これまで一般質問に対して進捗していない内容と理由は。		市 長
タ イ ト ル		朝 来 市 の 経 済 に つ い て			

## 第23回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	10	質問者	日下 茂	平成25年3月5日	
質問事項			質問要旨		答弁を 求める者
1. 観光市としての責任			(1) 竹田城の人気は朝来市を活性化できるか。 (2) 竹田地区の「灯台下暗し」の現状をどうするか。 (3) 受け入れ体制の充実と環境整備は。 (4) 条例整備の早期検討を		市長
2. 教育委員会の管理体制			(1) 教育委員会は聖域か。 (2) 教育委員会に対する市長の責任。 (3) 事件（校内事件）への教育委員会の対応と責任 (4) 認識不足か、隠ぺいか。（十分な対応が出来ていない理由）		市長 教育長
タイトル		いじめ、体罰は本当にゼロか。			